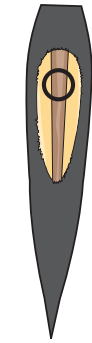


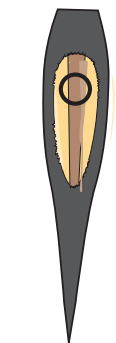
アックスのお手入れ アックスはハードな使用に耐えることができる堅牢なハンドツールです。最適な状態に保つために、少し愛情を注いで手入れをする価値があります。

アックスを使用した後は、シースを装着する前に必ず汚れや水分を落としてください。長期間保存する場合は、錆びないようにオイルやグリースをヘッドに塗ってください。エッジ（刃先）は、使用時に最も磨耗しやすい部分です。アックスを最適に保つには、定期的に刃を研ぐ必要があります。最良の結果を得るには、別売りのグラインディングストーン（荒砥／仕上げ用砥石）を濡らして使用します。両側のエッジ全体をシャープにして、エッジの元の形状を維持することが重要です。シャープにした後に粗いエッジやバリを除去するには、仕上げ用砥石を水かホーニングオイルの中に浸し、砥石をエッジの上で回転運動させます。鉄の破片がエッジを傷めることを防ぐために、砥石は時々掃除する必要があります。革ベルトを使ってエッジをなでると金属粉やバリを除去し滑らかになります。ハルタホースのアックスは本物の職人技を表しています。正しく使用すれば、寿命を延ばすことができます。

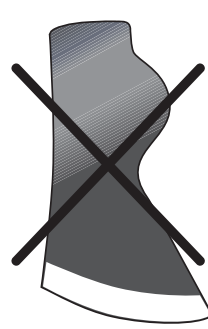
エッジをシャープにする アックスは目的に応じて異なる方法で作成されています。そのため、斧を研ぐときには、エッジの元の形状を保持することが重要です。



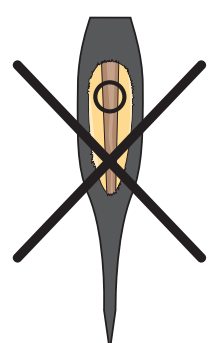
伐採用
薪割用



彫刻用の刃先



傾斜したエッジは滑ってユーザーを傷つける可能性があります。



エッジを誤ってシャープにすると、エッジが薄くシャープになりすぎます。

シャフトの付け替え

アックスの破損は、ほとんどの場合、シャフト（ハンドル）が破損します。損傷したシャフトは安全上のリスクになる可能性があります。ただし、ヘッドの状態が良好な場合は、新しいシャフトを取り付けてツールを再使用できます。新しいシャフトを工具に取り付ける場合は、シャフトが乾いていることを確認することが重要です。ヘッドが装着されていない状態で、乾燥すると、ヘッドが緩む恐れがあります。これは、木製のくさびを使用して新しいシャフトをフィットさせる場合も同様です。

- ①ヘッドのすぐ下の部分のシャフトを切断します。
- ②アイにいくつかの穴を開けます。
- ③残っているものを軽く叩いて取り外します。
- ④ヘッドを新しいシャフトにしっかりと押し込みます。シャフトのはみ出た部分を切り取ります。
- ⑤シャフトの端がアイを満たすように、スチール製のくさびをはめ込みます。スチール製のくさびでは不十分な場合は、スチール製のくさびの前に木製のくさびをはめ込む必要があります。乾燥した硬い木材でくさびを作成してください。次に、シャフトの端をノミで分割します。木工用の接着剤を塗り、木製のくさびを打ち込み余分な部分を切り落とします。
- ⑥スチール製のくさびを打ち込み、木製のくさびを所定の位置に固定します。次に、シャフトの端にオイルを塗り、湿気から保護します。

保管

アックスをボイラー室やヒーターに立て掛けたり、過度に乾燥した場所に保管しないで下さい。シャフトが乾燥して、使用中に斧のヘッドが緩む危険があります。

アックスのネックを他の道具で打ったり、ハンマーとして使用しないでください。ハンマーとしてはスレッジアックスのみが使用可能です。

